

かわさき市民アンケート概要版

調査の概要

調査設計等	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査対象 川崎市在住の満18歳以上の個人 ◆調査方法 インターネット調査 ◆標本抽出 インターネットモニター登録者から抽出 	<ul style="list-style-type: none"> ◆調査期間 令和元(2019)年8月30日(金) ～9月9日(月) ◆有効回収数 1,500標本
調査項目	<ol style="list-style-type: none"> 1 川崎市歌について 2 ふるさと納税について 3 市政だよりについて 	

※ 基数となるべき実数(n)は、設問に対する回答者数である。また、本文中の「百分率」は小数点第2位を四捨五入しているため、あるいは複数回答のため、数値の合計が100にならない場合がある。

調査回答者の属性

1 性別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 男性	770	51.3
2 女性	721	48.1
3 選べない・ 答えたくない	9	0.6
合計	1,500	100.0

2 居住区別

	基数 (人)	構成比 (%)
1 川崎区	237	15.8
2 幸区	166	11.1
3 中原区	258	17.2
4 高津区	228	15.2
5 宮前区	226	15.1
6 多摩区	214	14.3
7 麻生区	171	11.4
合計	1,500	100.0

3 性/年代別

	全体		男性		女性		選べない・ 答えたくない	
	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)	基数 (人)	構成比 (%)
1 18～19歳	25	1.7	10	1.3	15	2.1	0	0.0
2 20～29歳	218	14.5	98	12.7	118	16.4	2	22.2
3 30～39歳	308	20.5	172	22.3	134	18.6	2	22.2
4 40～49歳	344	22.9	180	23.4	160	22.2	4	44.4
5 50～59歳	278	18.5	137	17.8	140	19.4	1	11.1
6 60～69歳	205	13.7	98	12.7	107	14.8	0	0.0
7 70～79歳	122	8.1	75	9.7	47	6.5	0	0.0
合計	1,500	100.0	770	100.0	721	100.0	9	100.0

1 川崎市歌について

1 「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の聴取経験

今日、ここで聴くまでに、あなたは先ほどの歌を聴いたことはありましたか。

タイトルを伝えずに、「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」のそれぞれのサビの部分を約 30 秒間聴いてもらった後で、これまでに聴いたことがあるかどうか回答してもらった。

(%)

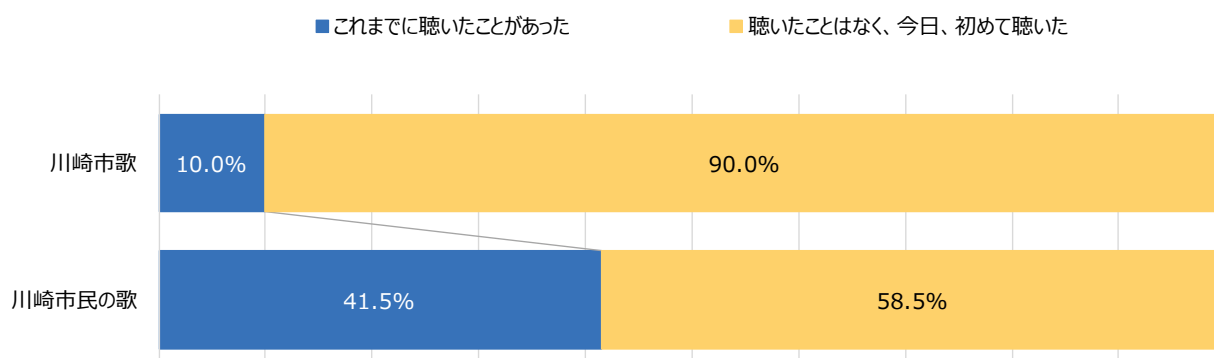
	川崎市歌	川崎市民の歌
これまでに聴いたことがあった	10.0	41.5
聴いたことはなく、今日、初めて聴いた	90.0	58.5

「川崎市歌」については、全体 (n=1,500) の 10.0% が「これまでに聴いたことがあった」と回答した。「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」については、全体 (n=1,500) の 41.5% が「これまでに聴いたことがあった」と回答した。

■ 「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の聴取経験

図 1

n=1,500



2 「川崎市歌」の認知

先ほど聴いていただいたのは「川崎市歌」ですが、あなたのご存じでしたか。

聴いてもらった歌が「川崎市歌」であることを伝えたくて、「『川崎市歌』であることを知っていたかどうか」を回答してもらった。

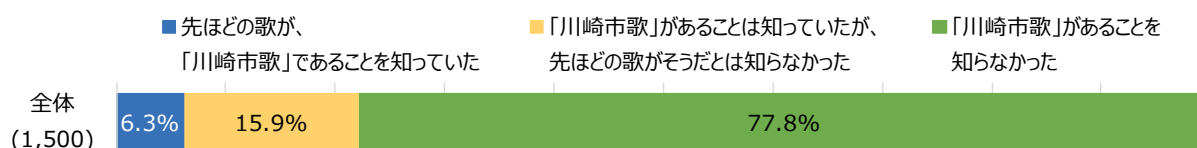
(%)

先ほどの歌が、「川崎市歌」であることを知っていた	6.3
「川崎市歌」があることは知っていたが、先ほどの歌がそうだと知らなかった	15.9
「川崎市歌」があることを知らなかった	77.8

全体(n=1,500)では、「(聴いた歌が)『川崎市歌』であることを知っていた」(6.3%)と「『川崎市歌』があることは知っていたが、(聴いた歌が)『川崎市歌』だとは知らなかった」(15.9%)を合わせた<『川崎市歌』があることを知っていた>割合は22.2%となり、「『川崎市歌』があることを知らなかった」が77.8%であった。

■ 「川崎市歌」の認知

図2



3 「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の認知

先ほど聴いていただいたのは「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」ですが、あなたのご存じでしたか。

同様に、「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」についても認知していたかどうかを回答してもらった。

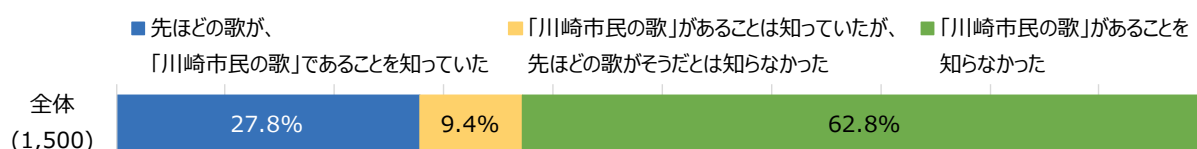
(%)

先ほどの歌が、「川崎市民の歌」であることを知っていた	27.8
「川崎市民の歌」があることは知っていたが、先ほどの歌がそうだと知らなかった	9.4
「川崎市民の歌」があることを知らなかった	62.8

全体(n=1,500)では、「(聴いた歌が)『川崎市民の歌』であることを知っていた」(27.8%)と「『川崎市民の歌』があることは知っていたが、(聴いた歌が)『川崎市民の歌』だとは知らなかった」(9.4%)を合わせた<『川崎市民の歌』があることを知っていた>割合は37.2%となり、「『川崎市民の歌』があることを知らなかった」が62.8%であった。

■ 「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の認知

図3



4 「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の印象

以下の中で、先ほど聴いていただいた歌の印象として、あてはまるものをすべて選んでください。(複数回答)

(%)

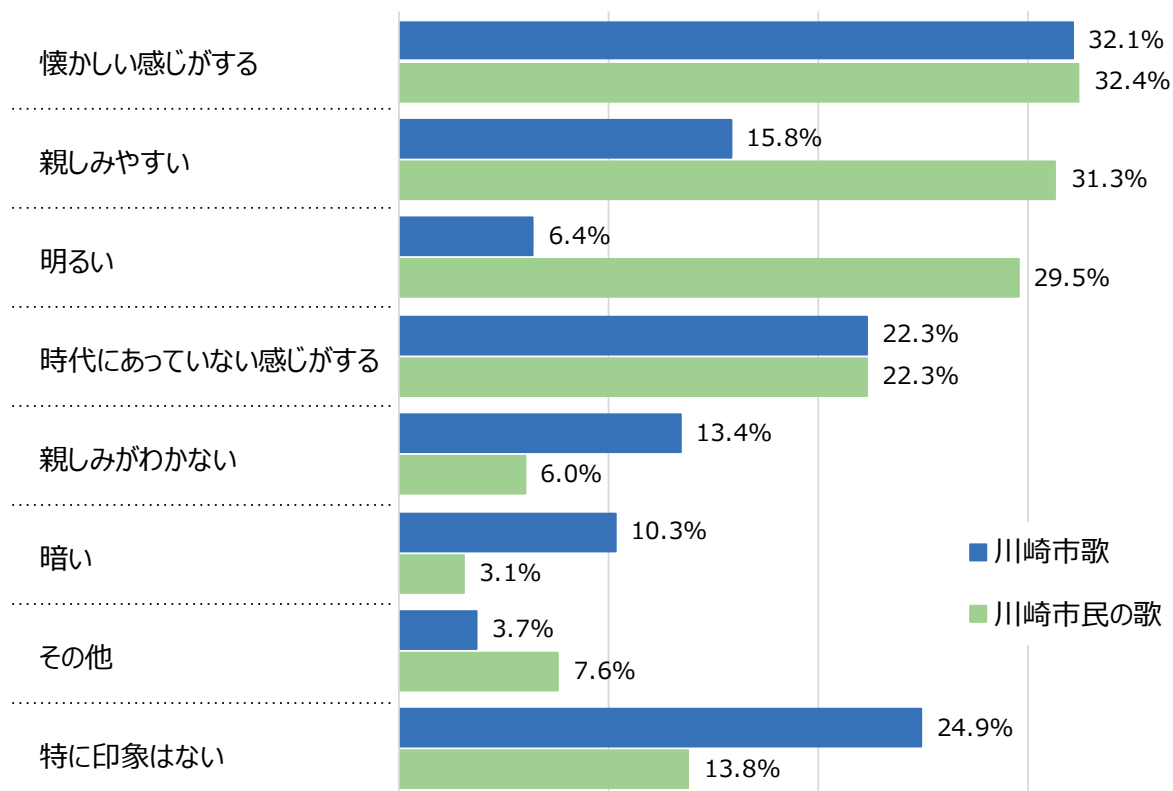
	川崎市歌	川崎市民の歌
懐かしい感じがする	32.1	32.4
親しみやすい	15.8	31.3
明るい	6.4	29.5
時代にあっていない感じがする	22.3	22.3
親しみがわからない	13.4	6.0
暗い	10.3	3.1
その他	3.7	7.6
特に印象はない	24.9	13.8

「川崎市歌」と「川崎市民の歌」ともに「懐かしい感じがする」が3割を超えた一方で、「時代に合っていない感じがする」が2割を超えた。「川崎市民の歌」については「親しみやすい」と「明るい」が3割程度であった。

■ 「川崎市歌」と「川崎市民の歌-好きです かわさき 愛の街-」の印象
(複数回答)

図4

n=1,500



2 ふるさと納税について

5 平成 30(2018)年 1 月～12 月の間のふるさと納税の利用経験

あなたは平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月の間にふるさと納税を利用したことはありますか。

	(%)
利用したことがある	21.9
利用したことがない	78.1

平成 30(2018)年 1 月～12 月の間にふるさと納税を「利用したことがある」は、全体(n=1,500)の 21.9%であった。

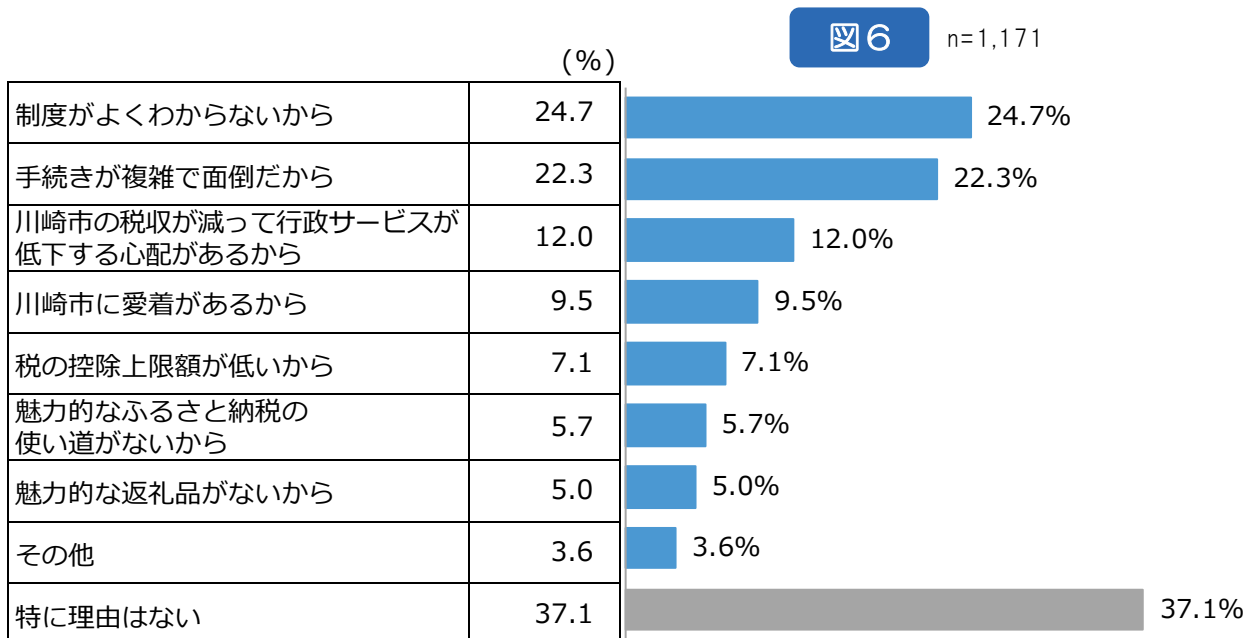
■ 平成 30(2018)年 1 月～12 月の間のふるさと納税の利用経験

図 5



6 ふるさと納税を利用しなかった理由

ふるさと納税を利用したことがない理由を教えてください。(複数回答)



平成 30(2018)年 1 月～12 月の間にふるさと納税を利用しなかった方(n=1,171)にその理由を回答してもらったところ、「特に理由はない」が 37.1%で最も高かった。具体的な理由の中では「制度がよくわからないから」が 24.7%で最も高く、次いで「手続きが複雑で面倒だから」(22.3%)であった。

7 ふるさと納税の利用状況(回数と総金額)

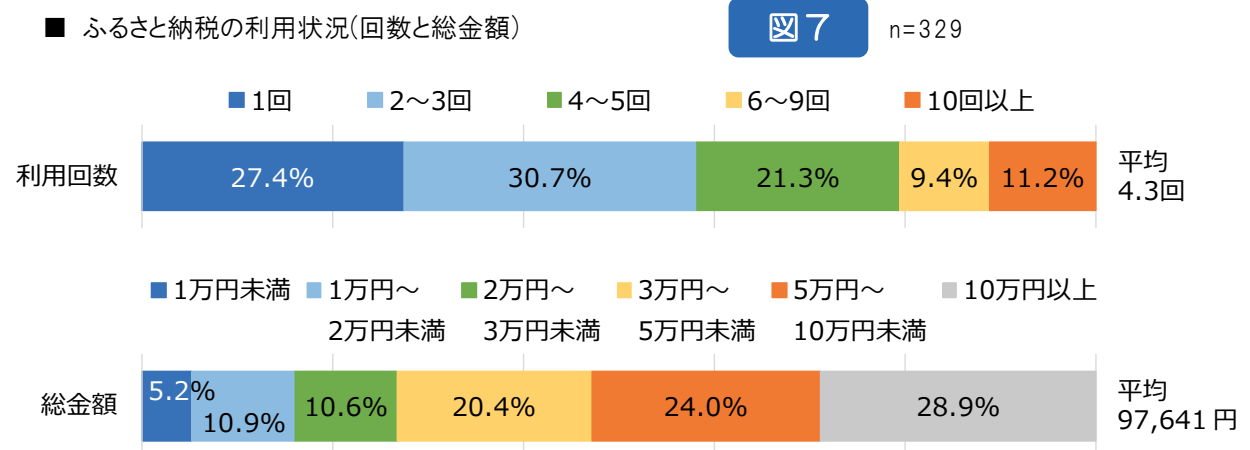
平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月の間にふるさと納税を行った回数と総金額を教えてください。

平成 30(2018)年 1 月～12 月の間にふるさと納税を利用した方(n=329)に対して、利用回数と総金額を回答してもらった。

■ 利用回数 (%)		■ 総金額 (%)	
1 回	27.4	1 万円未満	5.2
2～3 回	30.7	1 万円～2 万円未満	10.9
4～5 回	21.3	2 万円～3 万円未満	10.6
6～9 回	9.4	3 万円～5 万円未満	20.4
10 回以上	11.2	5 万円～10 万円未満	24.0
		10 万円以上	28.9

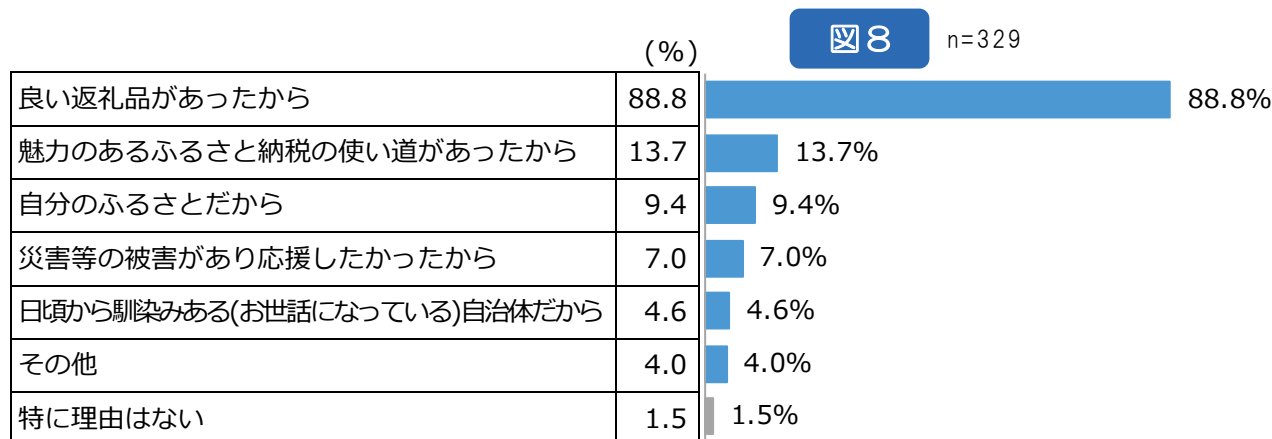
利用回数では「1 回」と「2～3 回」を合わせた<3 回以下>が 6 割近くであったが、「10 回以上」も 1 割を超えており、平均では 4.3 回であった。

総金額では、「5 万円～10 万円未満」が 24.0%、「10 万円以上」が 28.9%で、これらを合わせた<5 万円以上>が 5 割を超えており、平均では 97,641 円であった。



8 ふるさと納税を利用した理由

平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月の間にふるさと納税を行った理由を教えてください。(複数回答)

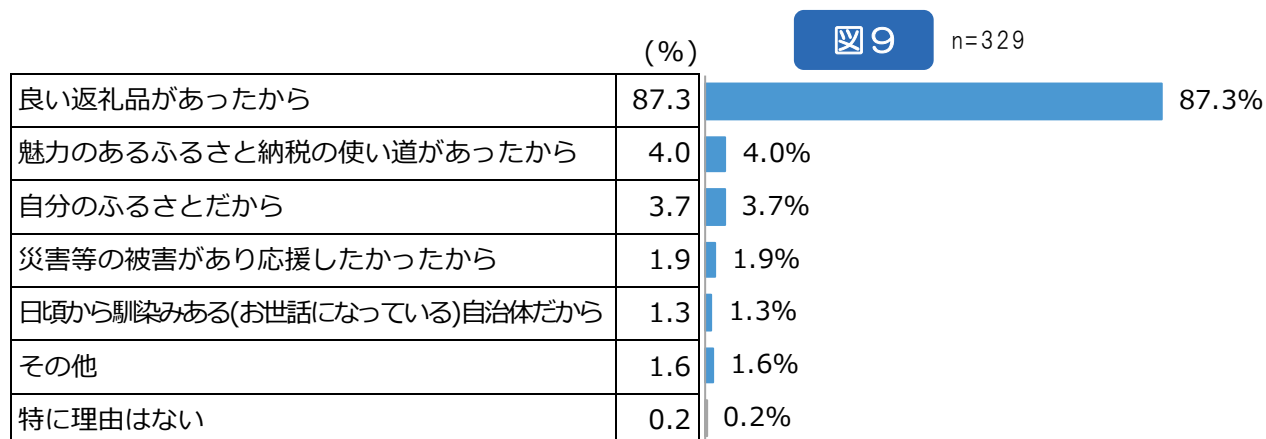


平成 30(2018)年 1 月～12 月の間にふるさと納税を利用した方(n=329)に利用理由を回答してもらったところ、9 割近くが「良い返礼品があったから」と回答した。2 番目の「魅力のあるふるさと納税の使い道があったから」(13.7%)とは大きな差があった。以後「自分のふるさとだから」(9.4%)と「災害等の被害があり応援したかったから」(7.0%)と続いたが、それらの理由を回答した人の割合は 1 割に満たなかった。

9 ふるさと納税を行った総金額に占める理由別金額割合

平成 30 年 1 月～平成 30 年 12 月の間にふるさと納税を行った総金額について、前問で選んだ理由別に、内訳を教えてください。

※1 回のふるさと納税で、複数の理由がある場合は、その理由ごとに金額を配分してください。



平成 30(2018)年 1 月～12 月の間にふるさと納税を行った総金額について、理由別の内訳を回答してもらったところ、「良い返礼品があったから」を理由とする利用額が全体の 87.3%を占めた。他の理由では「魅力のあるふるさと納税の使い道があったから」が 4.0%、「自分のふるさとだから」が 3.7%と、いずれも低い割合であった。

10 ふるさと納税制度により市税が何十億円も減収していることの認知

川崎市はふるさと納税により、平成30年度は44億円の市税が減収し、令和元年度は56億円の市税が減収する見込みで、年々市税減収額が増大しています。川崎市がふるさと納税制度により、毎年、何十億円も市税が減収していることをご存じでしたか。

	(%)
知らなかった	63.8
知っていた	36.2

全体(n=1,500)の63.8%が「知らなかった」と回答した。

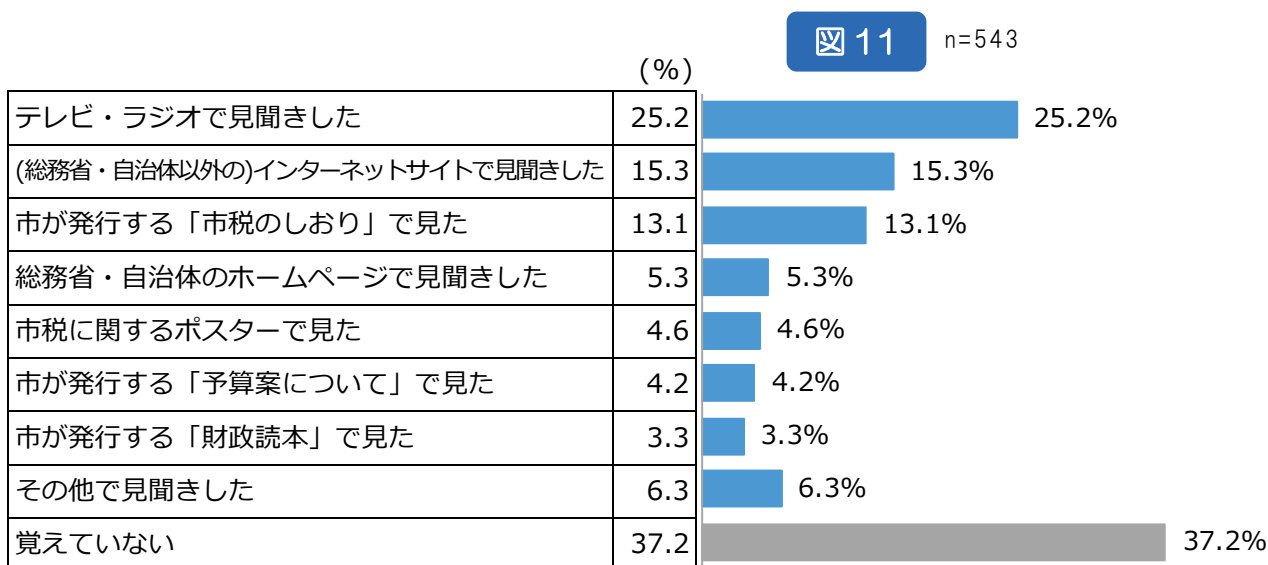
■ ふるさと納税制度により、市税が減収していることの認知

図 10



11 ふるさと納税制度により、市税が減収していることを認知した情報源

ご存じの場合には、何で見聞きしたのかを教えてください。(複数回答)



「ふるさと納税制度により、毎年、何十億円も市税が減収していること」を知っている方(n=543)が、何からそのことを認知したのかについて聞いたところ、「覚えていない」(37.2%)が最も高かったが、具体的な情報源としては、「テレビ・ラジオで見聞きした」(25.2%)が最も高く、次いで「(総務省・自治体以外の)インターネットサイトで見聞きした」(15.3%)、「市が発行する『市税のしおり』で見た」(13.1%)の順であった。

3 市政だよりについて

12 市政だよりの入手状況

川崎市では、市民向け広報紙として「かわさき市政だより(以下、市政だより)」を月2回(1日号・21日号)発行し、市・区の重要施策や各種お知らせ(案内・イベント・講座講演等)を掲載しています。

※1日号は町内会・自治会等のご協力により、21日号は新聞折り込みで配布しています。

市政だより令和元年8月1日号・8月21日号についてうかがいます。
あなたは市政だより8月1日号・8月21日号をどのように入手しましたか。
(複数回答)

■ 8月1日号 (%)	(%)
ポストに投函されていた(町内会・自治会・管理組合等の配布による)	43.7
公共施設等に置いているものを入手した	3.7
市のホームページで閲覧した	1.5
入手した(上記いずれかの方法による)	47.5
入手していない・できない	25.3
市政だよりに1日号があることを知らなかった	27.2

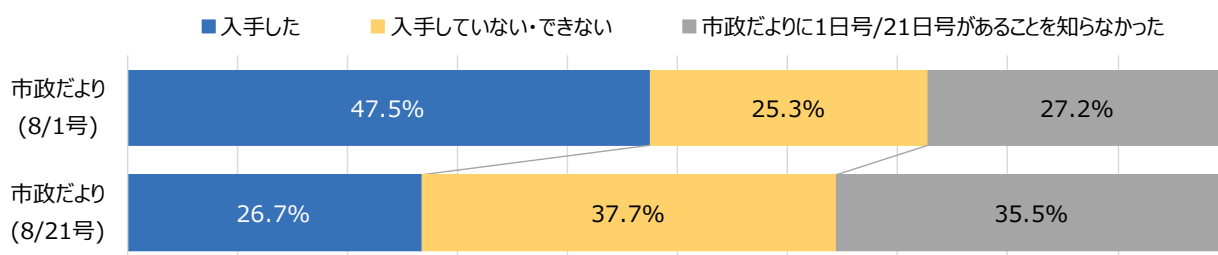
■ 8月21日号 (%)	(%)
新聞折り込みにより入手した	21.3
公共施設等に置いているものを入手した	5.1
市のホームページで閲覧した	1.5
入手した(上記いずれかの方法による)	26.7
入手していない・できない	37.7
市政だよりに21日号があることを知らなかった	35.5

「市政だより(8月1日号)」を入手していたのは、全体(n=1,500)の47.5%であった。入手方法としては「ポストに投函されていた(町内会・自治会・管理組合等の配布による)」が全体(n=1,500)の43.7%で最も高かった。

「市政だより(8月21日号)」を入手していたのは、全体(n=1,500)の26.7%であった。入手方法としては「新聞折り込みにより入手した」が全体(n=1,500)の21.3%で最も高かった。

■ 市政だよりの入手状況

図12 n=1,500



13 市政だより(8月1日号)の評価

【情報量】

市政だより8月1日号の情報量（表紙～特集3ページ・イベント等の各種お知らせ3ページ・区からのお知らせ2ページ、合計8ページ）について、どのように思いますか。

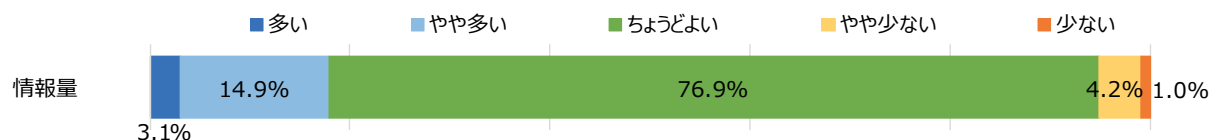
	(%)
多い	3.1
やや多い	14.9
ちょうどよい	76.9
やや少ない	4.2
少ない	1.0

「市政だより(8月1日号)」を入手した方(n=713)に、市政だよりについて評価してもらったところ、「情報量」は「ちょうどよい」が76.9%で、「多い」と「やや多い」を合わせたく多い>が18.0%であった。

■ 市政だより(8月1日号)の評価—「情報量」

図 13

n=713



【内容】

市政だより8月1日号の内容について、どのように思いますか。

【読みやすさ】

市政だより8月1日号の読みやすさについて、どのように思いますか。

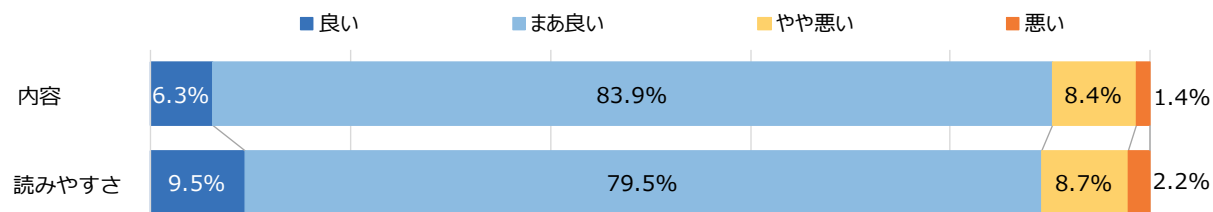
	内容	読みやすさ
良い	6.3	9.5
まあ良い	83.9	79.5
やや悪い	8.4	8.7
悪い	1.4	2.2

「内容」については、「良い」と「まあ良い」を合わせたく良い>が90.2%で、「読みやすさ」については、「良い」と「まあ良い」を合わせたく良い>が89.1%であった。

■ 市政だより(8月1日号)の評価—「内容」と「読みやすさ」

図 14

n=713



14 市政だよりの閲読状況

あなたは毎月発行している市政だよりをどれくらいの頻度で読んでいますか。

	1日号		21日号	
毎月必ず読む	6.9	5.0	13.1	9.7
ほとんど毎月読む	21.3	17.6	10.3	9.9
たまに読む	21.3	22.3	27.2	35.5
ほとんど読まない				
まったく読まない				
あることを知らない				

(%)

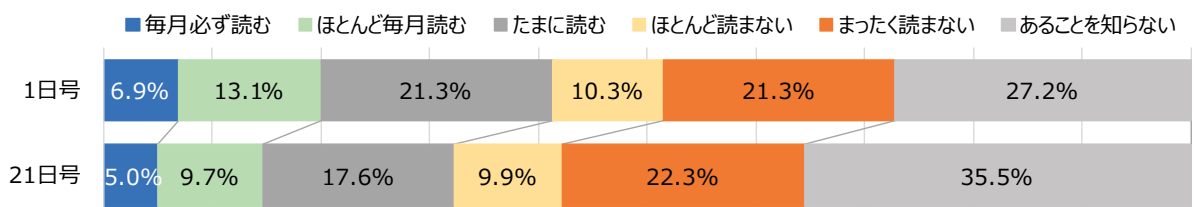
全体(n=1,500)のうち、「市政だより 1日号」を「毎月必ず読む」が6.9%、「ほとんど毎月読む」が13.1%、「たまに読む」が21.3%で、これらを合わせた<読む>は41.3%であった。

全体(n=1,500)のうち、「市政だより 21日号」を「毎月必ず読む」が5.0%、「ほとんど毎月読む」が9.7%、「たまに読む」が17.6%で、これらを合わせた<読む>は32.3%であった。

■ 市政だよりの閲読状況

図 15

n=1,500



15 町内会・自治会加入状況と新聞購読状況

以下のそれぞれについてお答えください。

あなたは町内会・自治会に加入していますか。

あなたは新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日本経済・毎日・読売)を紙媒体で購読していますか。

	町内会・自治会の加入状況		新聞(紙媒体)での購読状況	
はい	47.3	36.1	38.9	63.9
いいえ	38.9	63.9	13.8	
わからない	13.8			

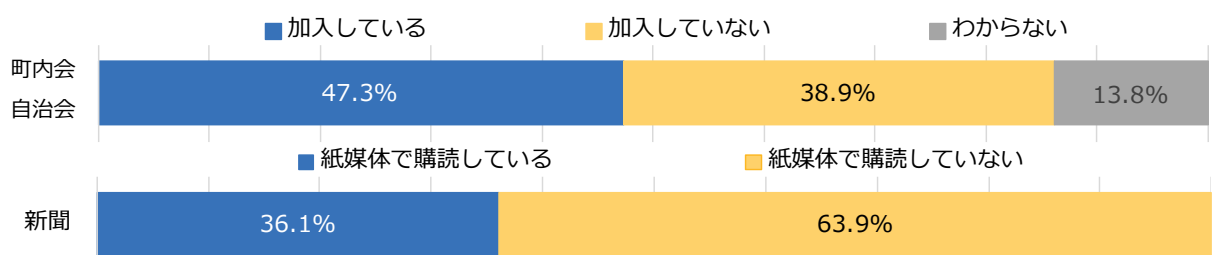
(%)

全体(n=1,500)のうち、「町内会・自治会に加入している」が47.3%、「新聞(朝日・神奈川・産経・東京・日本経済・毎日・読売)を紙媒体で購読している」が36.1%であった。

■ 町内会・自治会加入状況と新聞購読状況

図 16

n=1,500



※ 新聞：朝日・神奈川・産経・東京・日本経済・毎日・読売

16 各種媒体の閲覧状況

川崎市では、市政だより以外にも様々な媒体を用意し、事業やイベント、各種お知らせ等の情報を発信しています。以下のそれぞれの媒体の利用頻度を教えてください。

(%)

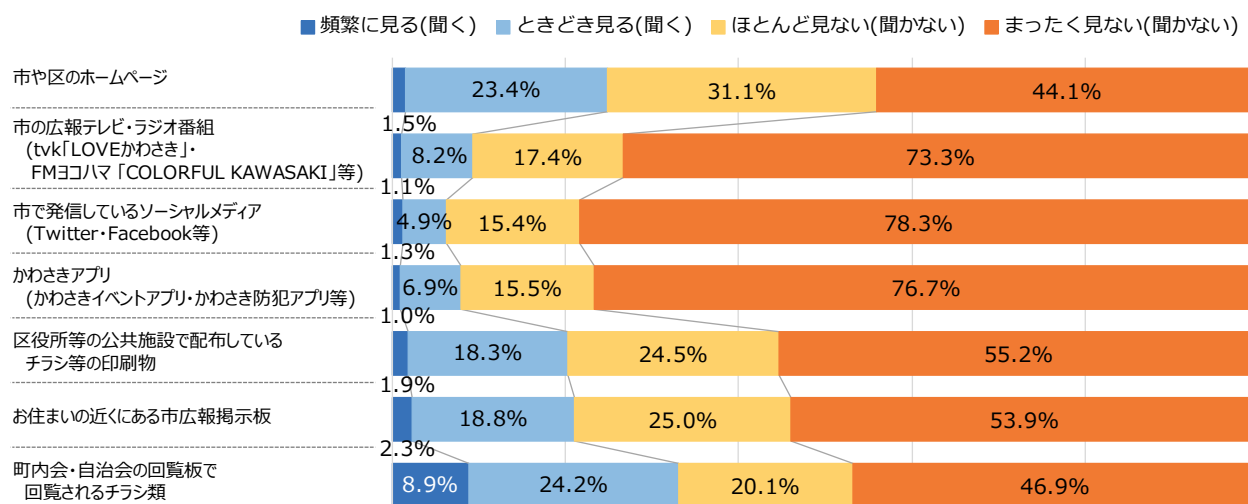
	頻繁に見る (聞く)	ときどき見る (聞く)	ほとんど見ない (聞かない)	まったく見ない (聞かない)
市や区のホームページ	1.5	23.4	31.1	44.1
市の広報テレビ・ラジオ番組	1.1	8.2	17.4	73.3
市で発信しているソーシャルメディア	1.3	4.9	15.4	78.3
かわさきアプリ	1.0	6.9	15.5	76.7
区役所等の公共施設で配布しているチラシ等の印刷物	1.9	18.3	24.5	55.2
お住まいの近くにある市広報掲示板	2.3	18.8	25.0	53.9
町内会・自治会の回覧板で回覧されるチラシ類	8.9	24.2	20.1	46.9

「市や区のホームページ」を「頻繁に見る」は1.5%、「ときどき見る」は23.4%で、この2つを合わせた「見る」は24.9%であった。他の媒体について「頻繁に見る(聞く)」と「ときどき見る(聞く)」を合わせた「見る」の割合は、高いものから順に「町内会・自治会の回覧板で回覧されるチラシ類」(33.1%)、「お住まいの近くにある市広報掲示板」(21.1%)、「区役所等の公共施設で配布しているチラシ等の印刷物」(20.3%)、「市の広報テレビ・ラジオ番組」(9.3%)、「かわさきアプリ」(7.9%)、「市で発信しているソーシャルメディア」(6.3%)であった。

■ 各種媒体の閲覧状況

図 17

n=1,500



令和元(2019)年度第1回かわさき市民アンケート概要版

令和元(2019)年11月

発行 川崎市総務企画局都市政策部企画調整課

〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地

電話 044-200-2148 (直通) FAX 044-200-0401